抗菌製品技術協議会 事務局　御中

品質と安全性に関する入会･自主登録データシートⅤ（抗ウイルス加工製品）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 会 社 名 |  | | | |
| 住　　所 | 〒 | | | |
| 事業所・部門名 |  | | | |
| 担 当 者 | 役 職 |  | 氏 名 |  |
| 連 絡 先 | Tel |  | Mail |  |

1. 抗ウイルス加工製品名と抗ウイルス性能

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 同等抗ウイルス加工製品群の内容 | | |  | | | 製品用途 | | | |  | | |
| 抗ウイルス加工製品名・品番 | | |  | | | | | | | | | |
| 抗ウイルス加工部位 | | | 本体、  部分の場合は具体的な部位：（ ） | | | | | | | | | |
| 抗ウイルス加工方法 | | | 練り込み、塗装、印刷、焼成、その他（ ） | | | | | | | | | |
|  | | | 製造販売、販売専業、流通業、輸入販売、  その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | | | | | | | | | |
| 抗ウイルス性試験 実施機関名 | | | (本会会員の試験機関) | | | | 報告年月日 | | | |  | |
| 報告書No. | | | |  | |
| 試験片ｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞ部位 | | |  | | | | | | | | | |
| 抗ウイルス持続性試験 | | | 耐水性区分 |  | | | | 耐光性区分 | | | |  |
| 報告書内容 | ウイルス株 | | ATCC　No. | | 抗ウイルス性 試験法名 | | | | 試 験 結 果 | | | |
| 耐水 | インフルエンザウイルス | VR-1679 | |  | | | |  | | | |
| ネコカリシウイルス | VR-782 | |  | | | |  | | | |
| 耐光 | インフルエンザウイルス | VR-1679 | |  | | | |  | | | |
| ネコカリシウイルス | VR-782 | |  | | | |  | | | |
| 2. 使用抗ウイルス加工剤の区分 | | | | | | | | | | | | |
| 抗ウイルス加工剤の 種類［大分類］ | | | 無機、有機合成、有機天然、有機無機混合、メタル  その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | | | | | | | | | |
| 抗ウイルス加工剤の 種類［中分類］ | | |  | | | | | | | | | |
| 使用抗ウイルス加工剤の 一般名（非開示可） | | |  | | | | | | | | | |

3. 抗ウイルス加工剤（抗ウイルス機能を発現させる物質）の安全性データ

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 安全性試験濃度（重量％） | 試験動物等 | 試験結果 | 試験機関名 | 報告No. |
| 急性経口毒性 |  |  |  |  |  |
| 皮膚一次刺激性 |  |  |  |  |  |
| 変異原性 |  |  |  |  |  |
| 皮膚感作性 |  |  |  |  |  |

4. コーティング剤（塗料、インキ）等の後加工用製品及びそれらにより形成されるコーティング面やコーティング物（塗膜、塗装物、印刷物）等を登録する場合（錬り込みの場合は非該当）：

コーティング面の抗ウルス加工剤（抗ウイルス機能を発現させる物質）の濃度；

3項に記載の安全性試験濃度（重量%）が100%でない場合、コーティング面の抗ウルス加工剤の濃度は、安全性が確認された最低濃度の1/2以下ですか？（いずれかに ○）

　（　）Yes　　　（　）No　　　（　）非該当（安全性試験濃度100%）

コーティング剤（塗料、インキ）等に含まれる抗ウルス加工剤以外の成分；

製品中には抗ウルス加工剤以外の成分(バインダー等)が含まれていますか？（YesかNoのどちらかに ○）

（　）Yes：抗ウルス加工剤以外にバインダー等の成分を含んでいます。

（　）No：成分は抗ウルス加工剤と媒体のみです。（⇒ 耐水区分1以上が必要です）

5. 抗ウイルス加工剤の法的状況（Yes か No のどちらかに ○）

日本以外の国または地域で販売する場合は、その国または地域の化学物質に関する法律や規制への適合を確認すること。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 質問項目 | Yes | No |
| 1 | 化審法で、第一種特定化学物質、第二種特定化学物質、または監視化学物質として指定されていますか？ |  |  |
| 2 | 電離放射線障害防止規則で規定されている放射性物質ですか？ |  |  |
| 3 | RoHS（特定有害物質使用制限）指令で規制されている物質ですか？ |  |  |
| 4 | 毒物及び劇物取締法またはその指定令で指定されている毒物又は劇物ですか？ |  |  |
| 5 | 有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律および関連法規により規制されている化学物質ですか？ |  |  |

6. SIAAマーク

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 表 示 | する | 「ISO番号付きSIAAマーク」の表示  「ISO番号なしSIAAマーク」の表示 | しない |
| 再登録で表示する（平成 年 月　　日再申請）  当初は表示しなかったが、後日表示する事になった場合は受理通知書と  共に送付された申請書の写しを使い、この項目に再申請日を記入し、表  示する場合の添付資料と共に再提出して下さい | | |

SIAAマークを表示する場合の添付資料

SIAAマークおよび抗ウイルスについて表示している資料すべて（原稿、ゲラ刷りの段階が望ましい）

（ ）製品に表示のSIAAマーク

（ ）包装

（ ）カタログ

（ ）チラシ

（ ）取扱い説明書

（　 ）技術資料（企業向け資料で一般消費者には渡らないもの）

（　 ）ホームページ

（ ）その他POP等（ ）

上記内容に間違いなきことを証します。

　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　管理責任者　　　　　　　　　印

再申請

　　　　　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　管理責任者　　　　　　　　　印